

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立防災安全センター  
 所管課 防災局 防災危機管理課  
 指定管理者 一般財団法人山梨県消防協会

## 1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県消防協会		H18.4.1	～	H21.3.31	3年	36,945,000
一般財団法人 山梨県消防協会 (H25.3.31まで財団法人)		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	61,575,000
一般財団法人 山梨県消防協会		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	71,454,000
一般財団法人 山梨県消防協会		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	57,775,000
一般財団法人 山梨県消防協会		R5.4.1	～	R9.3.31	4年	55,256,000

## 2 施設の概要

所在地	中央市今福991
設置年月日	昭和57年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立防災安全センター設置及び管理条例
設置目的	県民に、防災に関する展示・体験等により、防災知識の普及・啓発を行うこと。
主な業務の内容	(1)体験設備、展示品を活用した防災知識の普及啓発に関する業務 (2)地域防災力の向上及び防災用資機材の使用方法等に関する研究 (3)防災に関する文献、写真等の収集、保管及び展示
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 6,179.16㎡ ○建築面積 1,030.76㎡ ○建築延面積 1030.76㎡ ○建物の構造 耐震性鉄筋コンクリート造、平屋建て ○施設の内容 事務室、訓練実習室、視聴覚室、展示・体験フロア、車庫・備蓄庫、機械室
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

## 3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	14,356,000	14,473,000	14,473,000	14,473,000	13,504,048	
支出合計	12,860,893	14,081,348	13,888,582	14,523,816	13,811,794	
収支差額	1,495,107	391,652	584,418	△ 50,816	△ 307,746	

## 4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	34,347人	10,900人	14,379人	18,427人	26,193人	入場者、 事業参加者数の合計
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかとい えば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

## 5 運営目標の達成状況(令和5年度)

防災安全センターを、住民の生命と暮らしを守るための防災知識が習得できる施設として運営し、一人でも多くの県民に防災の知識と体験を提供できるようにすることが目的であるため、利用者数を運営目標としている。

令和5年度の利用実績は、目標値39,000人に対して実績値26,193人(達成率67.2%)と目標は未達成となったものの、前年度対比では42.1%増となり評価できる。

また、利用者満足度は85%以上が満足であり、その運営内容も評価できる。

## 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

定期的に現地へ赴き、実施状況を確認したところ、業務は適正に実施されている。

利用実績については、今年度は、出張講座のメニューや回数を増やし、積極的に活動を行ったことが利用実績の増加につながっており、次年度以降も同様以上の活動を行い、利用者の増加に務めるよう指示した。

また、切迫性が指摘される南海トラフ地震や富士山噴火などに的確に対応できるよう、これまで以上に防災知識の普及・啓発、利用者サービスの向上、施設等の維持管理に取り組むことが必要である。

なお、定期評価結果について、目標値は未達成ではあったが、令和4年度の体験者数に比べ、実績が向上している。引き続き、センターのPR等を通じて、利用者の受入れを積極的に図ってほしい。

## 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

出張講座のメニューについては、災害の発生状況や科学的知見等を踏まえ、逐次見直しを行っており、今後とも、防災対応力が向上するよう、見直しを徹底していく。

利用者増加に向けては、社会福祉協議会や公立小中学校校長会を通じて、県内の保育・教育機関へパンフレットを配布しており、今後も若年層を対象とした出張講座を積極的に実施していく。

また、令和6年元日に発生した能登半島地震の被害状況に関するパネル展示を行うなど、最新の防災知識の普及・啓発を図り、利用者の満足度向上に努めている。

本(令和5)年度は、県立防災安全センターのホームページに加え、指定管理者の公式Instagramも開設し、応急手当や避難所運営の知識が習得できる防災に関する講習・訓練を内容とする自主事業の周知等も行ったところであり、目標の達成に向け、更なる改善を図っていく。

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立防災安全センター

所管課 防災局 防災危機管理課

指定管理者 一般財団法人山梨県消防協会

## 1 利用状況

(単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	入館者数	4,042	608	1,981	2,175	4,021
	出張講座受講者数	13,999	5,130	6,253	7,562	11,086
	防災指導車利用者数	16,306	5,162	6,145	8,690	11,086
	利用者数合計	34,347	10,900	14,379	18,427	26,193
	目標値	42,000	33,100	33,400	33,700	39,000
	実績/目標割合	81.8%	32.9%	43.1%	54.7%	67.2%
	目標値の設定方法	R1・入館者数:4,800人、出張講座:16,500人、防災指導車:20,700人 R2・入館者数:3,900人、出張講座:13,500人、防災指導車:15,700人 R3・入館者数:3,900人、出張講座:13,600人、防災指導車:15,900人 R4・入館者数:4,000人、出張講座:13,700人、防災指導車:16,000人 R5・入館者数:4,310人、出張講座:14,890人、防災指導車:19,800人				
利用率	稼働率等(利用率)	49.0%	28.0%	22.3%	29.3%	37.7%
		51.0%	32.7%	23.4%	42.5%	55.1%
	稼働率等(利用率)の算定方法	上段(防災指導車):稼働日数/利用可能日数 下段(視聴覚室):利用日数/利用可能日数				

## 2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	

## 3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

県 直流電源装置修繕	200,200
県 ドームカバー修繕	203,500

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

\*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

## 4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

## 5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 入	A 収入額計	14,356,000	14,473,000	14,473,000	14,473,000	13,504,048
	指定管理委託料	14,356,000	14,473,000	14,473,000	14,473,000	13,504,048
	その他					
支 出	B 支出額計	12,860,893	14,081,348	13,888,582	14,523,816	13,811,794
	人件費	7,630,257	8,631,823	8,616,043	8,733,769	8,759,099
	修繕費	528,159	916,137	579,325	628,236	384,153
	光熱水費	1,976,604	1,446,018	1,546,206	2,085,784	1,813,103
	旅費					
	需用費	652,056	977,854	850,604	860,870	749,694
	役員費	569,925	569,526	564,479	582,257	565,645
	使賃費	38,592	19,140	19,140	19,140	19,140
	公課費	975,100	1,025,850	1,068,100	1,033,400	929,600
	その他					
	外部委託費	490,200	495,000	644,685	580,360	591,360
	清掃業務	424,800	429,000	429,000	429,000	429,000
	消防設備点検等	65,400	66,000	66,000	66,000	66,000
	防草シート敷設					
建築設備等法定点検			149,685	85,360	96,360	
外部委託比率	3.8%	3.5%	4.6%	4.0%	4.3%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	1,495,107	391,652	584,418	△ 50,816	△ 307,746	

一人当たり指定管理者委託料*	418.0	1,327.8	1,006.5	785.4	515.6
----------------	-------	---------	---------	-------	-------

\* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
C 収入額計					
D 支出額計				6,378	33,572
収支差額(C-D)				△ 6,378	△ 33,572

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

### 6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	防災に関する講習及び訓練(応急手当、避難所運営ゲームなど)	一般	県立防災安全センター
2			
3			
4			
5			

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

## 7 利用者満足度

実施方法等	(1)実施時期: 令和5年4月～令和6年3月 (2)実施方法: 事業参加者・来場者アンケート調査 (3)回答数:103人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
講話・講座の感想	91.3%	8.7%		
体験の充実度	91.0%	8.0%	1.0%	
展示・説明の解り易さ	79.2%	20.8%		
利用しての感想	87.4%	12.6%		
またの来館希望	77.7%	21.3%	1.0%	
施設全般の満足度	85.3%	14.3%	0.4%	0.0%
利用者の主な意見	<b>【主な意見】</b> ①日々、あまり身近に思えない防災の大切さを改めて気づかされる。 ②大地震に対する心構えができた。 ③ビデオを使って視覚から訴えていくのは、意識向上のためにも良かった。 ④話は良かったが、もう少し伝える技術・姿勢に意識を持てば、より良かった。			
利用者の意見への対応	<b>【対応策】</b> ①能登半島地震をはじめ、新たに発生した災害に関する写真パネルをいち早く展示するなど、災害を身近に感じ、具体的な対応策が身に付けられるよう、展示内容のアップデートや更なる充実に努めます。 ②防災指導車やテントを利用した煙体験施設など、大地震等への対応力が身に付く体験型展示の更なる充実に努めます。 ③小学校の中・高学年やその保護者、また、自主防災組織や事業所など、幅広い方々が最新の消防防災知識を身に付けられるよう、専門業者が作成した映像資料を計画的に購入・活用し、来館者の視覚に訴える講義等の更なる充実に努めます。 ④来場者等の年齢や気持ちに配慮した丁寧な利用案内を今後も行えるよう、研修を継続します。			

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

## 8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理 業務	<p>専門家による建築設備定期点検等を実施するとともに、その結果を踏まえ、職員が施設及び設備について、異常がないか日常的に確認した。</p> <p>その結果判明した破損個所については、速やかに修繕・補強を行い、破損の拡大防止を図るなど、適正に管理した。</p>	<p>管理業務計画書等のとおり適正に業務は遂行されている。</p>
運営業務	<p>来館者に安全・安心して見学してもらえるよう、適切な感染症対策を実施した。</p> <p>起震車による地震体験の出張講座をメインに位置づけ、防災意識の普及・啓発に努めた。</p> <p>来館者が日頃から災害に備えた意識を身に付けられるよう、地震・煙・消火の体験、展示物の活用等により普及・啓発に努めた。</p>	<p>管理業務計画書等のとおり適正に業務は遂行されている。</p> <p>また、換気対策や消毒等の実施喚起など感染症対策も適切に実施されている。</p>
利用状況	<p>感染症防止対策を徹底し、年間を通じて休館せずに予定どおり運営できた。</p> <p>利用者数合計は26,193人で、目標値の39,000人には達しなかったものの、前年度の18,427人から7,766人、142.1%の大幅増となった。</p> <p>県内のみならず、県外の来館者も増加しており、出張講座や防災指導車(起震車)派遣の要望も増加している。</p> <p>今後とも、自主事業の充実や防災指導車の更なる活用など、全体利用者数が増加するよう努める。</p>	<p>出張講座事業を中心に利用実績向上が見られる。</p> <p>前年度対比で大きく伸びていることから積極的に活動し、利用実績の増加に努めていただきたい。</p>
収支状況	<p>エネルギー価格が高騰する中で、光熱水費等の義務的経費の比率が高い状況にあることを踏まえ、各支出について詳細に点検し、電気料等の大幅な削減を図った。</p> <p>また、車体の老朽化により、修理部品が調達できず、公道の走行が困難となった旧起震車を廃車し、経費の節減に務めた。</p>	<p>引き続き、各支出について点検し、適正な事業計画の策定と、より一層の効率的な運営に努めていただきたい。</p>
自主事業	<p>自主防災組織の構成員や地域住民など、受講者の特性や年齢等を考慮し、参加者に応じたきめ細かい防災講座を開催し、災害に備えた普及・啓発に取り組めた。</p>	<p>受講者の特性に応じた研修や訓練を実施することは有効であることから、引き続き継続し、防災安全センターの強みを活かした防災意識の普及・啓発を推進していただきたい。</p>
利用者満足度	<p>来館者を対象に、講話・講座の感想、体験の充実度、展示・説明の解り易さ、利用しての感想、またの来館希望の5項目についてアンケートを行った結果、すべての項目で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた満足層が99%を超えており、多くの利用者から御満足いただけたと自己評価している。(なお、いずれの項目についても2～3名の無回答がある。)</p>	<p>利用者の満足度は高いと判断するが、引き続き、利用者の意見収集を行い、多様化するニーズを汲み取り、サービス向上につなげていただきたい。</p>

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

### 9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
防災体験事業(防災指導車)	<p>防災教育の普及・啓発を図るため、防災指導車の体験者数を評価指標とし、前指定管理時の目標値に上乘せし、19,800人を目標値に設定した。</p> <p>PTA協議会や校長会等への宣伝を実施した結果、年間体験者数は11,086人となり、目標値の56.0%と目標値には達しなかったものの、前年度の8,690人から2,396人、127.6%の大幅増となった。</p>	<p>目標値には達成しなかったものの、前年度対比では大きな増加が見られた。</p> <p>引き続き、PR等を通じて体験者数の増加を図ってもらいたい。</p>
学習・見学事業(来館者)	<p>施設の利用促進を図るため、防災安全センターの来館者数を評価指標とし、前指定管理時の目標値に上乘せし、4,310人を目標値に設定した。</p> <p>消防団等の団体に対して施設PRを行った結果、年間来館者数は4,021人となり、目標値の93.3%と目標には達しなかったものの、前年度の2,175人から1,846人、184.9%の大幅増となった。</p>	<p>目標値には達成しなかったものの、前年度対比では大きな増加が見られた。</p> <p>移動防災教育講座の利用者は未就学児や小学生が多い一方で、来館者の利用者は消防団等の団体が多い。館内利用の役割や強みを整理していただき、来館者の受入れを積極的に図ってもらいたい。</p>
移動防災教育講座(出張講座)	<p>防災教育の普及・啓発を図るため、移動防災教育講座の参加者数を評価指標とし、前指定管理時の目標値に上乘せし、14,890人を目標値に設定した。</p> <p>PTA協議会や校長会等への宣伝を実施した結果、年間体験者数は11,086人となり、目標値の74.5%と目標には達しなかったものの、前年度の7,562人から、3,524人、146.6%の大幅増となった。</p>	<p>目標値には達成しなかったものの、前年度対比では大きな増加が見られた。</p> <p>引き続き、出張講座のPR等を通じて、参加者の受入れを積極的に図ってもらいたい。</p>

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

## 10 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

